HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	研究DX・事務DXを促進する部局ポータルサイトの開発と運用
Author(s)	森岡, 和子; 澤田, 真理子; 飯塚, 理恵 他
Description	RA協議会第11回年次大会 ： グローバル連携とローカル貢献：URAの戦略的アプローチ. 2025年10月21日(火) - 10月22日(水). 主催：リサーチ・アドミニストレーション協議会. 熊本城ホール. 熊本
Issue Date	2025-10-21
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/96181
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/
Type	conference poster
File Information	2025RA_PP1-021.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

PP1-021

研究DX・事務DXを促進する部局ポータルサイトの開発と運用

北海道大学大学院文学研究院 研究推進室　○森岡 和子、澤田 真理子、飯塚 理恵、加藤 美樹

概要と特徴

研究および事務手続きのための情報ステーションとして、教員・事務職員・URAが協働開発・運用している部局ポータルサイトを紹介する。

【特徴】

1．シンプルな２階層構造・検索機能

→ 情報アクセスの容易さ、サイト制作コストの軽減

2．共同編集機能＋更新履歴ページ作成

→ 掲載情報をカテゴリ化し、各カテゴリごとに編集担当者をひも付ける。カテゴリごとに編集権限を付与する。
担当していないページ誤編集の防止、更新履歴により、誰が・いつ・どこを更新したか把握

3．アーカイブ機能

→ 全学に先がけ会議資料のペーパレス化 ⇒ 現在は全学グループウェアの文書管理機能に移行

→ 部局Factbookを掲載 ⇒ 部局評価、研究力分析、部局運営方針策定などに活用

4．外部からのアクセス

→ ベーシック認証を導入し、学外からのアクセスも可能に、出張中の事務作業も可能に

5．お知らせ機能

→ 教員メーリングリストと連動したお知らせ機能、お知らせ公開とともにメール自動配信、発信元・お知らせカテゴリごとのソート機能

→ 締め切り１週前の通知機能、検索機能により過去メールを見つけやすい。

方法と工夫

教員＋事務職員＋URAによるワーキンググループ結成し、以下のことに留意して約1年かけて開発し、運用ルールを策定、2015年稼働。

1．どのような情報を掲載するか？それぞれの要望を集める

→ 教員：よく使う手続きの規定・書式の最新版、外部資金情報、各種連絡の締切前リマインド、メール検索、出張時アクセス

→ 事務職員：教員からのFAQsに対応できる情報・書式、例規集（各種規定）

→ URA：発信しているつもりでもあまり伝わっていない研究支援情報、最新の政策動向など

2．誰が、どのように情報更新するか？

→ 掲載情報を担当ごとにカテゴリ化し、各カテゴリごとに編集権限を付与して編集担当者をひも付ける。
（研究推進室は全権限付与、更新履歴を定期的にチェックする）

→ 年に２回、最新情報にアップデートする呼びかけを行う。

3．ルール作り

→ ワーキンググループにより「ポータルサイトポリシー」と「ポータルサイト運用指針」を策定。
ポリシーは掲載内容・免責事項、著作権、個人情報、リンクについて、
運用指針は目的、定義、範囲と構成、意義、管理・運用体制、コンテンツの総括責任・更新・充実について定める。

4．セキュリティ

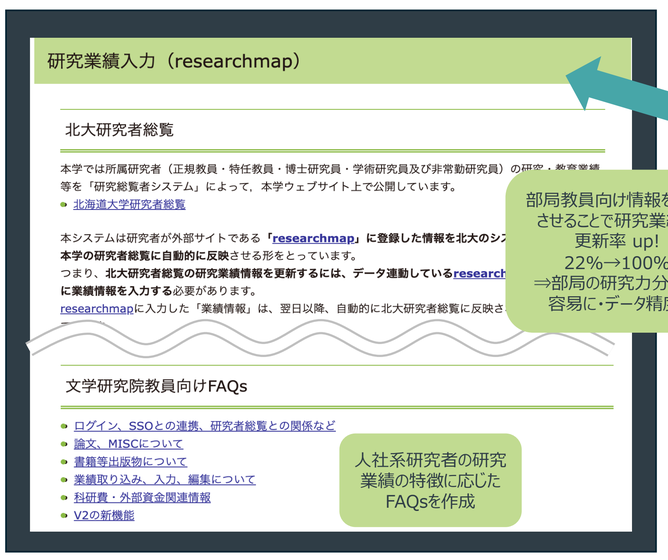
→ ベーシック認証を導入し、人事異動のたびにアクセス権限を更新、サーバ管理は業者委託してセキュリティを担保している。

ポリシー・運用指針

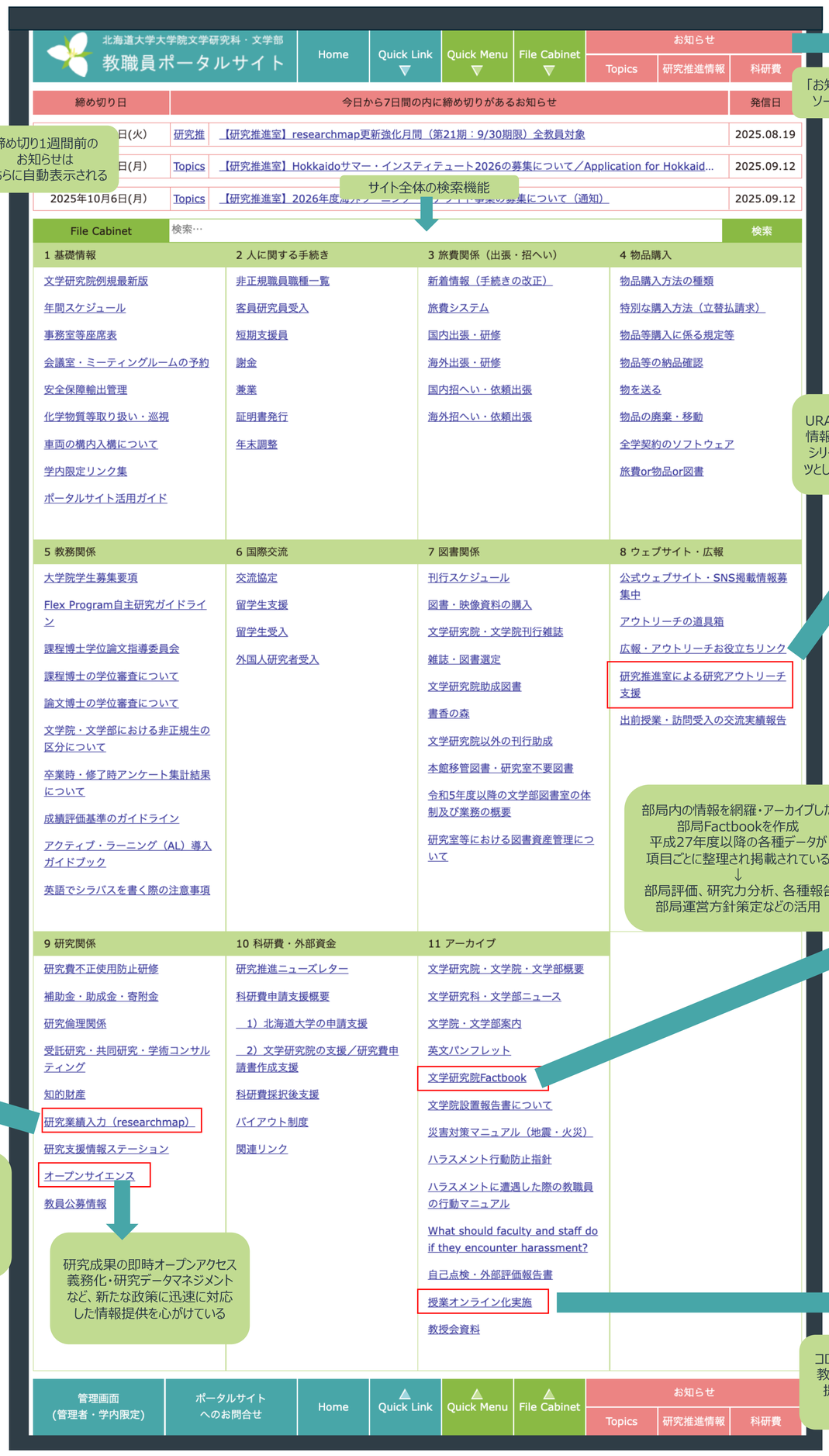
検討項目	対応
利用対象者	教員（文学研究院＋文学院＋関連センター）、事務職員、URA、広報委員長が許可した非常勤職員
掲載内容	お知らせ（研究推進情報、外部資金、その他） 各種手続き・規定、教育研究関連情報
管理・運営	広報委員会内のデジタルコンテンツ担当が担う
情報更新担当	掲載情報の業務を担当する事務担当が行う 研究推進室が全体の編集を補助
セキュリティ	ベーシック認証をかける、年1回パスワード変更 人事異動のたびに利用者の加除をおこなう
掲載しない情報	パスワード情報、個人情報

共同編集：項目ごとの編集担当

File Cabinet 項目	編集担当
1　基礎情報	庶務、研究推進室
2　人に関する手続き	庶務、研究推進室
3　旅費関係	庶務、会計、研究推進室
4　物品購入	会計、研究推進室
5　教務関係	教務、研究推進室
6　国際交流	教務、研究推進室
7　図書館系	図書、研究推進室
8　ウェブサイト・広報	研究推進室
9　研究関係	庶務、研究推進室
10　科研費・外部資金	庶務、研究推進室
11　アーカイブ	庶務、研究推進室



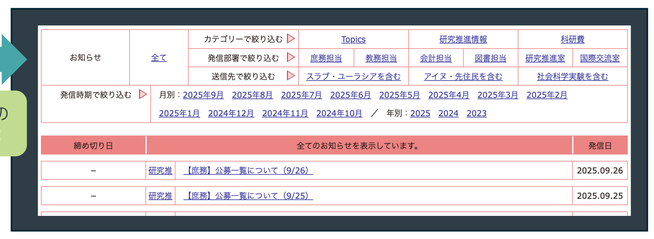
人社系研究者の研究業績の特徴に応じたFAQsを作成



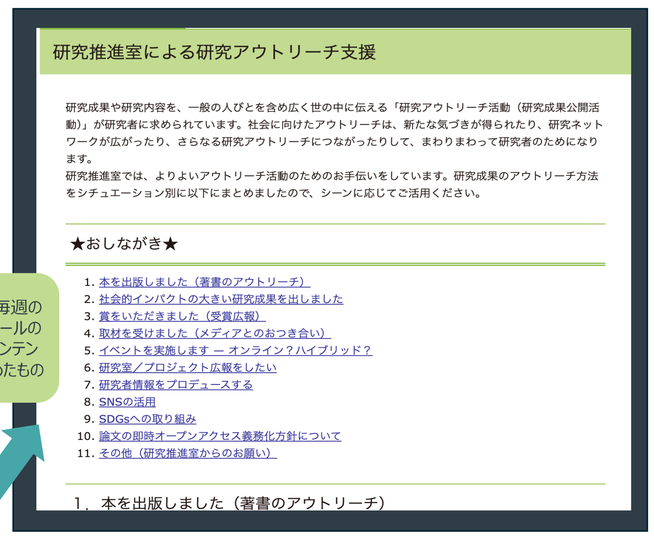
部局教員向け情報を充実させることで研究業績の更新率 up!
22%→100%
⇒部局の研究力分析が容易に・データ精度↑

研究成果の即時オープンアクセス義務化・研究データマネジメントなど、新たな政策に迅速に対応した情報提供を心がけている

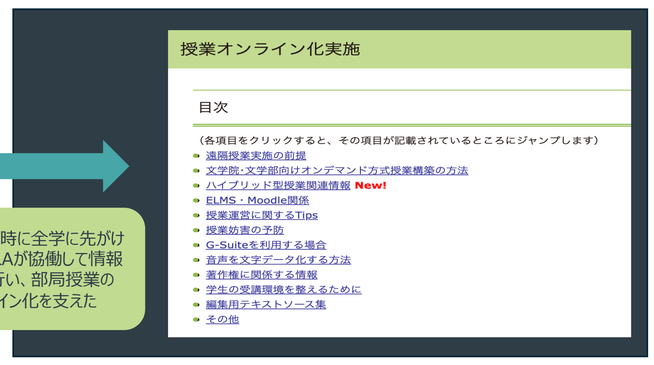
「お知らせ」のソート機能



URAによる毎週の情報提供メールのシリーズをコンテンツとしてまとめたもの



部局内の情報を網羅・アーカイブした部局Factbookを作成
平成27年度以降の各種データが項目ごとに整理され掲載されている
↓
部局評価、研究力分析、各種報告
部局運営方針策定などの活用



コロナ禍の時に全学に先がけ教員とURAが協働して情報提供を行い、部局授業のオンライン化を支えた

反響と課題

1．ポジティブ！

〔教〕こんなサイトがほしかった！／全学の情報サイトは自分には関係ない情報が多すぎてほしい情報にたどり着くのが大変だったが
ここは必要な情報がコンパクトにまとまっているので情報が見つけやすい／部局に特化した情報が助かる／お知らせメールを
破棄してしまっても、ポータルサイトで探すことができた！

〔事〕部署異動で人が入れ替わっても、過去情報を見ると教員に提供された情報がわかる／教員からの問い合わせが減少

〔U〕メールで提供した関連情報をまとめページとして情報提供可能に／researchmapの入力支援情報を掲載することで
教員の業績情報把握が容易に／Factbookにより評価関係の書類・資料があわてずタイムリーに準備可能に

2．ネガティブ…

〔事〕当初、ワードプレスに慣れていない職員から、手間が増えるという反発があった。

→ 使いづらい機能や作業内容について聞き取りを行い、**更新作業を簡素化するサイト改修**を行った。⇒ 不満減少、なくなる

〔U〕人事異動のたびにアクセス権限の更新を行うのにやや手間がかかる。→ これが未解決課題

3．アクセス解析（2024年9月1日～2025年8月31日の年間アクセストップ10）

(1) 文学研究院例規最新版 (2) 文学研究院Factbook (3) 謝金 (4) 国内出張・研修 (5) 短期支援員
(6) 研究推進情報 (7) 年間スケジュール (8) 旅費システム (9) 非正規職員職種一覧 (10) 物品購入方法の種類

→ 事務手続き、規定、研究情報、データ関係へのアクセスが多い ⇒ **研究DX・事務DXに貢献**

まとめ

1．DXの成果

・事務手続きの簡素化：教員と事務職員のやり取りが減少

・会議のペーパレス化

・各種データの集約化・共有化 **〈ITとしてのアーカイブ機能・部局の歴史的・資料的なアーカイブ・各種情報のバックアップ〉**
データ収集・分析・結果公開のエコシステムが実現 ⇒ 評価業務の効率化・精度向上、部局運営方針策定のEBPM化

・学内配分資金獲得に成功
researchmap更新率向上、研究業績をもれなく登録することで学内で高評価を得て資金獲得

・事務職員のワードプレス編集スキル向上

2．その他の成果

・協働の気運の醸成
教員＋事務職員＋URAによる協働実績により、ポータルサイト事業だけでなく、他のプロジェクトにおいても3者協働の機運が高まる

・有事の情報ステーションとして機能（当初は想定外だった）
コロナ禍の授業オンライン化実施、在宅勤務時のための情報ステーションとして機能
災害対策マニュアルも掲載、外部サイトの「緊急時の対応」ページとともに災害対応機能も果たす
全学停電、道内停電にも対応可能な外部サーバに移行

お問い合わせ：北海道大学大学院 文学研究院 研究推進室：letura@let.hokudai.ac.jp